

波田少年少女合唱団 最優秀賞に輝く!

館報

はた



平成26年7月1日現在

世帯数	5,846戸
人口	15,658人
男	7,599人
女	8,059人



波田少年少女合唱団は5月4日、ベルギーで開催された国際音楽祭「第62回ニールペルト・ヨーロッパ青少年音楽祭」に日本代表として出場し、みごと特別金賞を受賞しました。ヨーロッパを中心に25ヶ国から約100団体が参加、7つの部門に分かれ、同声コース部門の最高賞に選ばれたのです。

合唱団は2006年に波田小学校を卒業した歌の大好きな子どもたちによって結成されました。団員は今では小学生から大学生にまで広がり、近隣の地域からの参加者も増え、心に響く歌声を大切に毎週1回練習に励んでいます。

今回はその中から48名のメンバーが出場しました。ニールペルトは静かだけれいな町です。海外が初めての仲間が多かったのですが、そこは若さと団結力、元氣いっぱい臨みました。コンクール前日に行われたウクライナとオランダとの親善コンサートではドレミの歌などを歌い、折り紙と一緒にしたりして、楽しく交流できたそうです。ランチの順番を待っている時も前後の人たちと歌の掛け合

はいけると思いました。」と言っておられました。「子どもたちってすばらしい。目標を持って歌い続けることです。小学生の入団おおいに歓迎。歌の好きな子集まって!」と。合唱団は私たちに夢を与え



いをし、言葉の違いを乗り越えて音楽で触れ合ったとか。コンクールに同行した高宮一男代表は「波田の合唱団の声には伸びがあります。揃っていました。歌い終わった瞬間、ブラボーのコール。これ



てくれました。子どもたちのエネルギーは波田から世界に広がって行きます。



晴天の5月25日(日) 決行。21チーム(内、2チームは複数区で構成)で3会場5コートで熱戦を繰り広げ大いに盛り上がり、決勝戦は大方の予想を覆し、10区対20、27区の合同チームで白熱のゲームとなり、10区が勝利、見事優勝の栄冠を勝ち取った。(写真参照)

当日、試合開始前、各チームの監督さんに取材、意気込みは血気盛ん、半数以上のチームは、「優勝」を指した。

10区の区民の皆様、改めておめでとうございます。取材して今回特に感じた事は、

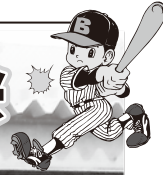
①今大会より女性(全年齢)の参加が認められ、初のレギュラーとして参加(1区の西村恵美さん)初打席で快心の2塁打。今後とも各区の女性の参加を期待したい。

②26区の下平さん(74歳)波

町内公民館対抗

40歳以上

ソフトボール大会



今後とも、公民館対抗のソフトボール大会への参加を通じて、住民の親睦と体力・健康の増進、地区の活性化、まちづくりの一翼を担える大会になる事を願ってやまない。

田地区のソフトボール愛好家なら知る人ぞ知る「現役のエース」3試合完投、2勝1敗で同チームを3位に導いた。驚きのその体力と精神力に敬服した。

24区

町会宮後地区清掃



平成26年 6月8日 日曜日
天気は小雨

〔雨が降れば翌週25日に：AM8時 公民館前公園に集合〕

山田町会長挨拶から始まり、各組の担当箇所の説明分館の内

- ◆ 1組 公園の清掃、花植え
- ◆ 3組と6組と7組 側溝西
- ◆ 4組と5組 側溝中
- ◆ 2組 ゴミ置き場東側
- ◆ 8組と11組 ゴミ置き場北側
- ◆ 9組と10組と各組一斉に始め、2時間位で作業が終わり



ました。毎年、6月第1日曜日は、地区清掃(宮後)と決まっておりますが、高齢化で、身体の不調で出席できない方と不幸がある方以外は、出不足金を支払っていただくのですが、今は5千円と高額なので、出席をするようになりました。

今から15年前は2千円だったので、参加する人は少なく、少人数での作業だったので、お昼過ぎまでかかっていました。それだけ、119戸の人の力は大きいということになります。これからも暮らしやすい街づくりを目指していきたいですね。

(E・K)



休日になると カメラを持って妻とドライブ

どの方面に車を走らせようか、新聞その他の情報を見て目的が決まり、桜の季節から5月が初めての国営アルプスあづみの公園のチューリップを、また芝桜は昨年「大町市と塩尻市洗馬」に行ったので、今年は伊那の芝桜を見に出発し、自分は写真に夢中になり妻は食気?6月に入り、バラをと思い、中野市一本木公園は2年前行ったので、高遠しんわの丘ローズガーデンに行きました。お昼は高遠そばを食べて、高遠まんじゅうを買って家に帰り、撮ってきた写真はパソコンに入れてから品定めをして、写真用紙A4に2〜4面を印刷してアルバムにしています。思ったような写真が撮れた時は喜びますが、思うような写真が無い時はガツカリです。何処の場所もこだわりを持って作っているところが良く分かり感心しました。またその時季になると何処も人でいっぱい、その為シャッターチャンスがなかなかうまく具合に巡ってきませんが、それはそれでまた良い写真が撮れる時もあり、健康で仕事が出るうちは、日々頑張つて出掛けようと思つています。今度の休みは何処に行こうかな?